

指定管理施設（総合福祉センター）事業評価表

母子・父子福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和元年の実施状況		令和2年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	R元年度	R2年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
交流事業	1	夏季交流事業	1		2020年から小学校で必修化されるプログラミングに触れながら、交流の場とする。	13	12	1	54	0	0	△ 1	△ 54	・学校の必修化、昨年好評だったためプログラミング講座を計画、新型コロナウイルスの影響で前年依頼事業者と調整できず、費用等の面で他事業所との折り合いがつかなかったため、止むを得ず中止。
		社会見学 (春:南知多ビーチランド&おもちゃランド:中止) (秋:のんほいパーク)	2	6/7,11/8	親子で出かける機会を提供し、参加者同士の仲間づくりや体験学習の場を目的とした交流事業を実施。			2	91	1	11	△ 1	△ 80	①春のわくわく体験ツアー(6/7) ・行き先:南知多ビーチランド&おもちゃ王国 ・参加者募集等準備を進め、4組9名の申し込みがあったが新型コロナウイルスの影響で中止。 ②秋のわくわく体験ツアー(11/8) ・行き先:のんほいパーク・参加家族:4家族 11名 ・内容:のんほいパーク動物園・植物園見学と遊園地 ・コロナ禍のため、参加者は少なかったが、家族同士の席を離す、乗車時の消毒等対策を行い実施。アンケートも好評。
		冬季交流事業 (スキー・スノボツアー)	1	1/17	日頃体験できないスキー・スノボ・雪遊びを通し、参加者同士の交流を図る。			1	36	0	0	△ 1	△ 36	・参加募集等準備を進め、7組21名(母親7名・幼児4名・小学生9名・中学生1名)の申込みがあったが新型コロナウイルスの影響で中止。
		寡婦交流事業 (園芸教室、らくらく筋力アップ体操、座って生き生き体操、盆踊りの練習、しめ縄作り)	6	5/20、5/31 6/11、8/3 8/5、12/9 12/19	寡婦の方の健康に関することや季節行事を通し交流を図る。			7	215	2	17	△ 5	△ 198	・コロナ禍で、春の園芸教室(5/20)、筋力アップ体操(5/31)、座って生き生き体操(6/11)、盆踊り練習(8/3、5)を中止。 ・冬の園芸教室を参加者を絞り12/9実施。定員10名 参加者6名 ・しめ縄作りも12/19参加者を絞り実施、参加者11名
		小計	10	—				小計	11	396	3	28	△ 8	△ 368
		ひとり親支援事業	1	夏季休暇中の一時預かり (わくわくキッズクラブ)	21	夏休み 21日間	夏休み中、ひとり親家庭の小学生を対象に、遊びや自由勉強等規則正しく生活する場を提供し、保護者が安心して仕事ができることを目的とする。	14	14	22	246	4	18	△ 18
児童学習支援 (子ども習字教室)	24			第1・3月曜日	ひとり親家庭の子どもの知識や技能の習得をする。	13	13	22	151	19	180	△ 3	29	・コロナ影響による施設閉鎖で回数減少。 ・授業が大変になり、後半に6年生が辞めていった。 ・作品展に代えてミニ作品展を実施し、教室の際に保護者にも見ていただいた。
就労支援講座 (カラーコーディネート)	1			5/10	自分では気付けない、似合う色を知り仕事や普段の生活に潤いを持てるようにする。	11	8	1	17	0	0	△ 1	△ 17	・緊急事態宣言発令もあり中止。
小計	46			—		小計	45	414	23	198	△ 18	△ 216		
相談業務	1			子育て相談		随時	ひとり親家庭の自立生活を手助けする。	11	11	4	4	8	8	4
		生活一般相談		随時	相談内容に応じて、適切に関係機関に繋げる。	5	5			3	3	△ 2	△ 2	・引っ越して来たり母子家庭になった方がどんな事が利用できるかの問い合わせが3件あった
		小計	0	—		小計	9	9	11	11	2	2		

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和元年の実施状況		令和2年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
			回数	実施日	ねらい	R元年度	R2年度	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	実施回数(回)	参加延べ人数(人)	
交流事業 (自主)	2	<ひとり親家庭交流サロン>			季節行事を通して、親子のふれあいの場、参加者同士の仲間づくりの場を提供する。	10	10							・デイキャンプはコロナ禍の影響で中止。(児童センターと共同) ・クリスマス会は密を避け半分の人数で募集、参加者7組17名。クリスマスリース作りやプレゼントをサンタさんからもらい喜んでいた。2年度は優が丘からシフォンケーキを取り寄せ家で食べるようにした。 ・バレンタインチョコ作りはカード作りとして開催を計画したが、参加者が集まらず中止。 ・新入学お祝い会は、10組31名が参加、ゲームや自己紹介を行い学校で使える文具等をプレゼントした。子どもの笑顔が見られ嬉しかったとの声も聞かれた。2名が子ども習字の紹介で参加、母子・父子寡婦福祉会に2組の新規申し込みがあった。
		デイキャンプ	1	7/30				4	117	2	48	△ 2	△ 69	
		クリスマス会	1	12/13										
		バレンタインチョコ作り	1	2/6										
		新入学お祝い会	1	3/7										
		<多世代交流事業>			老人福祉センター・児童センター・障害者福祉センターと合同で季節行事等を行い、世代を越えて一緒に楽しい時間を過ごし、お互いに助け合う気持ちを育む。	12	12							・でこぼこ夏まつり、縁日はコロナの為中止。夏休みの交流は、老人センターと調整し4日間の内2日実施。一緒に作り、作品で遊べ楽しんだ。 ・例年の作品展が中止となりミニ作品展として3階ロビーとショーケースを利用し、子ども習字教室、布草履サークルの作品を展示。3階に見えた方や教室のついでに保護者が見られたり、展示者が知り合いに声を掛け見に来てもらう等多くの方に見ていただいた。 ・ハロウィンは児童センターと実施、福祉センター行事に合わせ、児童センター遊戯室を飾り楽しんだ。参加者361名(母63名、父41名、幼児130名、小学生87名、中学生1名、その他39名) ・花もち作りは、餅粉を枝に付けるが、若い母親達が花や鳥の形にアレンジ、老人の方達もまねる等刺激を受けていた。 ・新年のお茶会は伝承遊びに変更。お茶・お花サークルの稽古の成果が披露できず残念だった。 ・ふれあい豆まき会は、参加者が不特定多数の為コロナ禍を考慮し中止。
		でこぼこ夏まつり・縁日(児童・老人・障害)	1	8/7				21	890	8	480	△ 13	△ 410	
		わいわい教室(老人)	1	8/13										
		雑巾作り(老人)	1	8/11										
		秋のミニ作品展	1	10/20～11/13										
		ハロウィン(児童)	1	10/31										
		花もち作り(老人・児童)	1	12/24										
		新春伝承遊び(老人・児童)	1	1/5										
ふれあい豆まき会(児童・障害・老人)	1	1/28												
小計	5	—	小計	25										
趣味・教養	2	<サークル活動>			趣味・教養の講座を開催し、技能や知識の習得をするともに、参加者同士の交流の場とする。	8	8							・共同のふれあい作品展を中止した為、布ぞうり同好会と野菊の会の成果発表の場として、3階ロビーで「秋のミニ作品展」として発表の場を設けた。 ・お茶・お花サークルもお花のお稽古だけを実施、新春お茶会を伝承遊びとして内容を変更し実施したため、発表の場がなかった。
		パソコンサークル	24	第1・3水曜				24	146	20	115	△ 4	△ 31	
		布ぞうり作り同好会	24	第2・4木曜				24	169	15	77	△ 9	△ 92	
		お茶・お花サークル	12	第1水曜				11	136	6	74	△ 5	△ 62	
		野菊の会	24	第1・3月曜				24	95	19	84	△ 5	△ 11	
		小計	84	—	小計	83	546	60	350	△ 23	△ 196			
その他	2	母子・父子寡婦福祉会		通年	母子・父子寡婦福祉会と連携を図り、活動のサポートと共に情報交換を行う。	14	14	—	489	—	383	—	—	会長と常に情報交換し、寡婦会行事、売店等全体的にサポートした。
		情報提供		通年	母子・父子福祉センターを周知し利用を促進する。 母子・父子家庭自立支援教育訓練給付金事業促進	14	14	—	200	—	124	—	△ 76	・母子・父子センター行事チラシや新聞発行等の際に児童館・児童センター、幼稚園、保育園に掲示し、該当者への配布を依頼。 ・幼稚園、保育園への配布により新入学お祝い会に、紹介された新規の方の参加があった。
		小計	0	—	小計	—	689	—	507	0	△ 76			
		計	0	—	—	—	—	3,061	—	1,622	—	△ 1,439		

（留意事項） ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点